

<報道発表資料>

令和6年2月8日

埼玉県立大学の学生が知事と意見交換を行います ～3年ぶりの開催、対面では初！～

埼玉県立大学の学生は、ゼミやサークル活動を通じて、保健医療福祉分野とも関連のある社会問題への意識を深め、課題解決に向けた取組を行っています。

今回、3つの団体が日ごろの活動内容を発表し、知事と意見交換を行います。

この取組は、令和2年にWEB会議形式で実施して以来2回目です。

1 発表テーマ

- (1) 「話したい」という素朴な集まり ～ゆるやかなつながりから行動へ～
(サークル「いろえんぴつ」 顧問：江口のぞみ看護学科准教授)
- (2) 豊かな学生生活のために私たちができること ～学内外での活動を見込んで～
(サークル「LUNA(ルナ)」、顧問：齋藤恵子看護学科准教授)
- (3) シニア世代におけるスマートフォン デジタルデバイド対策支援のあり方
～スマートフォン活用のための教科書作成とスマホ相談の取組み～
(2023年度4年小川ゼミ&サークル「やどり木 SPU(エスピーユー) b i n d e r s (バインダーズ)」、顧問：小川孔美社会福祉子ども学科准教授)

2 日時

令和6年2月15日(木) 午前10時30分から

3 会場

知事公館大会議室

4 主な出席者

- ・埼玉県 大野元裕知事
- ・埼玉県立大学 星文彦学長、林裕栄副学長兼学部長、磯田忠夫事務局長、顧問教諭、発表を行う学生17人

5 概要

- ・ 学生による発表及び知事との意見交換
- ・ 知事による全体講評

6 備考

会場の都合により、当日の参加は、大学関係者及び報道関係者のみとさせていただきます。